

前へ、もっと、前へ。
ICHINEN GROUP



イチネン
グループ

総合情報誌

第99号

2013年4月1日発行(季刊)

編集

株式会社イチネンホールディングス

社長室

http://www.ichinenhd.co.jp

イチネングループビジョン活動を通じて



イチネングループビジョンプロジェクト
プロジェクトリーダー
株式会社イチネン 取締役 執行役員
業務サービス本部長 黒田 哲也



お取引先の皆様にはいつもお世話になり誠にありがとうございます。

さて、2011年4月にイチネングループビジョンが、翌年2012年4月には各事業会社ビジョンが発表されました。その後、グループ全体の活動として「管理職ビジョン勉強会」や「ビジョンプリリーダー会議」、その他の様々な現場活動を通じて、我が社の経営理念やビジョンについて深く考え学ぶ機会を得ることができました。この度は本紙面において経営理念やグループビジョンの意義、そして、現場活動を通じて気づいたことや学んだことについて報告させていただきます。

1. グループビジョンの意義

イチネングループは83年の歴史を経て売上高570億円、営業利益44億円、従業員数9000名を超える規模となりました。我がグループは、この近年においてM&Aや新規事業への投資、様々な人材の採用などを通じて、今まで以上に多様な人材が集う企業グループに発展して参りました。これから更なる成長発展を目指すためには、グループの経営理念を再認識すると共に、事業の目的や価値観を明確にし、経営者並びに従業員がこれらを共有しながら同じベクトルに向かう必要があります。グループの歴史は、変化、挑戦、粘り、努力の連続だったと言っているでしょう。私もこうした挑戦心に溢れ粘っこい企業文化を継承し、また、我々が理想とす

る「ありたい姿」を描き、未来への思いを込めてグループビジョンを策定しました。この策定作業においてはPJメンバーの弛まぬ努力と経営者並びに従業員の方々の心強い支援があったからこそやり遂げることができたと深く感謝しております。グループビジョンとは「4つの価値観」であり、代表的なキーワードとして「感動、信頼、変化、挑戦」といったものがあります。これは経営の軸足であり、大事にしていく価値観を表すと同時に、過去から継承されるべき経営思想や哲学を表します。また、これらは経営者並びに従業員の人的成長とグループの成長を目指すために必要不可欠なものと考えております。(優秀社員の6箇条も同様に我々の継承すべき企業文化を表しております。)

2. 3つの約束、従業員への思い

グループビジョンの体系には、「3つの約束」というものがあり、経営者が従業員に3つの項目を宣言しております。特に経営者としての強い責任と思いを第一項目の「社員と家族の生活を全力で守ります」に表しております。会社を未来永劫、成長に導き従業員と家族の豊かさや幸福を追求することが我々の事業の第一の目的と考えております。従業員が満足せずしてお取引先様や株主の方々の満足を生み出すことはできません。つまり、経営者の思いは従業員第一主義であります。人生の大半をイチネングループと共に歩み、成長・発展の原動力となってい

3. ビジョンから展開する改革PJ

ビジョン活動の事例として、(株)イチネンでは昨年よりビジョン実現のため「商品・サービス改革PJ」が発足し、お客様のためのサービス品質向上をテーマに日々議論を重ね、少しずつではありますがサービス改革が進んでおります。我々のサービスは本場にビジョンに合っているのだろうか。お客様のためになっているのだろうか。社内の論理が優先されていないだろうか。こうした疑問点がPJ活動の出発点となっております。これは若手中間管理職で構成されるメンバーの主体的な提案から生まれ、全てが現場主導で経営者を巻き込みながら、今までにはない積極的な活動を行っております。こうした現場活動が引き金となり、全体に波及すれば素晴らしい企業グループになっていくであろうと大きな期待を寄せております。

4. ビジョン活動での学びと経営思想への深化

昨年7月以降、管理職ビジョン勉強会やビジョンプリリーダー会議を開催しております。当初参加者の多くは、「一体何をすれば良いのかわからない」というのが本音だったのではないのでしょうか。ビジョン活動というと、何か特別なことをしないとイケないような気がしていたのかも知れません。ビジョン勉強会や現場のミーティングにおいて、グループビジョンに関わる「美しい言葉」をベースに綺麗に発表することに満足していた人も多かったでしょう。これは経営理念やビジョンの理解と浸透のための第一歩と

しては避けて通れない道と考えております。しかし、実際はこうした会話と現実の姿に大きなギャップがありました。理想の言葉と現実の行動が全く一致しない場合があるのです。ビジョン勉強会を深めていくにつれて参加者が学んだことは、道徳観や倫理観を学び、日頃の行動姿勢そのものを正さないとビジョンどころの話ではないということです。

例えば、「感動・信頼・変化・挑戦」という場合、地道な努力、情熱、挨拶、感謝、反省、明るさ、前向き、約束を守る、正直、誠実、謙虚、素直、対話、厳しき、優しき、利他、自責、あきらめない、闘魂……といった言葉が背景にあり、行動姿勢や考え方に繋がります。こうした言葉は道徳観や哲学とも言えます。ビジョンというとこんな基本的なレベルから考えるのかと、きつと驚く方もいらっしゃるでしょう。しかし、こうしたことができなくて世の中に真の感動や信頼を生み出せるでしょうか。また、挑戦という困難にも立ち向かう勇氣を持ち、あきらめずとことんやり抜く忍耐力と精神力が必要なのです。しかし、意外とこうした基本を軽視し、物事を表面的に考えたり、組織運営や仕事が上手く回らないことがあります。つまり全て当たり前のことを当たり前にできているか、人としての正しい行いができているかを追求する必要があるのです。そのためには経営者や管理職が率先して、まず自分ができているのかという問いかけと反省からスタートしなければなりません。

ビジョン勉強会の対話の中で自分の考え方の違いや悪い特徴に気づき、180度前向きに意識が変わった管理職や一般社員が存在します。現場での実践のためにはまず自分が変わらなければ……という気づきです。こうした目覚めの体験を通じて人間的成長とは、知識習得や仕事技術の向上とい

うのは一側面に過ぎず「考え方のレベルが一段上がる」といいます。現在の勉強会ではこうした議論を活発に行っており、ビジョン勉強会Ⅱ人間性を育む活動を通じてビジョン実現に向けて日々研鑽しております。

5. 高い山を目指す

イチネングループは「一流企業」になることを目指して参ります。ここで言う一流企業とは、高収益企業であり、尊敬され信頼される魅力ある企業と考えております。そして、規模的にも売上高1,000億円、営業利益100億円の実現に向けて日々邁進しております。事業発展のためには規模を拡大しながら適正な利益が必要です。規模と利益の拡大の意義は、適正な利益を確保することにより、事業や従業員への投資を積極的に行い、また、どのような経済環境や競争環境になろうと揺るぎのない財務基盤を作るためであり、未来創造のために不可欠なものと捉えております。こうしたビジョンの実現はまるで高い山を登ることと同じと考えております。このように高い山を登るためには日頃のトレーニングや服装などの装備などそれ相応の備えが大切です。つまり、ビジョンを実現するためには経営者も従業員も仕事を通じて技術を高めることと合わせて、前述の通り自ら人格や人間性を高めるためのトレーニングが必要と考えております。

6. イチネングループの未来について (83年 歴史から学ぶこと)

イチネングループは昭和5年に創業し現在まで様々な歴史を重ねてきました。現在の規模になるまでは、日々挑戦と失敗の繰り返しで、恐らく楽しいことよりも苦しいことの方が多かったのではないのでしょうか。時代を節目において様々な新規事業に取組み、その成功に向けて経営者から現場社員

まで全員で汗を流し、粘り強く、地道な努力を積み重ねてきました。それはレンガを1個ずつ積み上げるかの如くの地道な毎日でありました。4つの価値観は、言葉そのものはとても綺麗なもののですが、背景にあるものは余りに泥臭く、厳しく、汗にまみれた世界です。ビジョンを実現するためには先人が築いてきた文化を深く理解し良い所を継承し、新しいものを取り入れていく姿勢が必要です。また、今の時期に、我々にとって再認識するべき最も重要なことは現場主義の徹底です。これからも経営者並びに従業員は現場の最前線に身を置き、積極果敢に闘う姿勢が求められます。現場でお客様のために汗をかきながら粘り強く課題解決に取り組むことや目標達成のためにとことんやり抜くことが重要です。そして、こうなりたいという強い思いを持ち続け、日々の実践を繰り返すことで個々の成長に繋がります、グループ全体の成長を実現できるものと捉えております。

今後、イチネングループが100年、200年と永続的發展企業になること、そして、その通過点として売上高1,000億円、営業利益100億円という中長期目標とビジョンを実現することを目指します。そのためには日々の努力と研鑽に励み、その結果、従業員と家族のためにも共に幸福と豊かさを追求して参ります。そして、同時に、お取引先の皆様に真に喜んで頂けるよう事業発展に挑戦し、また、世の中や地域社会に貢献できますよう、これからも心を込めて様々な活動をしたいと考えております。

今後ともイチネングループは弛まぬ努力を続けて参ります。お取引先の皆様には何卒ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

以上

経営理念

最高の品質とサービスで、より多くの顧客に満足を与え、適正な利潤を確保することにより、株主及び従業員に報い且つ社会に奉仕する。

3つの約束

1. 社員と家族の生活を全力で守ります
2. 一生懸命努力する人を応援します
3. 社員と共に挑戦し変化し続けます

4つの価値観 (グループビジョン)

1. 《事業観》事業を通じて、お客様に便利と感動を提供する
2. 《人物像》相手の立場に立ち、信頼される人になる
3. 《組織観》環境の変化に柔軟かつ機動的に対応し、ローコスト経営を徹底追求する
4. 《企業風土》挑戦を是とし、皆がわくわくする自由闊達な風土を育てる

7つの問いかけ

1. あなたの仕事はお客様に感動を与えられましたか?
2. お客様と向き合い、お客様の笑顔を見られましたか?
3. あなたは笑顔で輝いていましたか?
4. 今日は何に挑戦しましたか?
5. 情熱と思いやりをもって仕事をしましたか?
6. まわりの人と対話をしましたか?
7. 成長を実感できましたか?

イチネングループ「優秀社員の6箇条」

1. 道徳を守ります
1. あくなき挑戦心を持ちつづけます
1. 我が城は自分で守ります
1. 汗を流して商いをします
1. 魅力的な人間を目指します
1. あきらめない不屈の精神を持ちつづけます

株式会社ジコー商品紹介

株式会社ジコー

第二事業部 第三営業部 部長 西沢 諭

ふえろ〜をご愛読の皆様におかれましては、ますますご健勝ご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年9月より、イチネングループに仲間入りをさせて頂きました、株式会社ジコー第三営業部長の西沢で御座います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

弊社には、第一、第二、第三営業部、そして事業開発部がございます。

第一営業部は合成樹脂・機械事業、第二営業部はアミューズメント事業、第三営業部は製造事業、事業開発部ではLED照明事業を営んでおります。

ここでは、私が所属しております、第三営業部の事業内容について、紹介させていただきます。

(株)ジコー第三営業部は、「科学計測グループ」と「電子グループ」で構成されております。

科学計測グループは、ガス検知警報器の製造・販売を行っております。ガス検知警報器とは、見えない危険なガスをセンサーで監視し、危険（異常）な状態になった際に警報する機械です。

ご家庭にある、「火災用警報器」の産業版をイメージして頂ければ宜しいかと存じます。

販売業界は、鉄鋼・化学プラント・大学研究室・医療・電力・自動車・半導体・官公庁と、多岐にわたります。

近年は、火山が噴火した際に発生する「二酸化硫黄ガス」「硫化水素ガス」の測定機器を、三宅島をはじめとする各地方自治体に、累計1000台以上ご採用頂いております。

これからも様々な業種のユーザー様の「命を守る」ため、そして「生産効率を高める」ことに貢献できるよう、競合他社よりもお求めやすい価格・効率的な機能・省エネ設計を心掛け、製品拡販に勤しんで参ります。

電子グループでは、特殊なセラミックヒーターを製造・販売しております。

当社ヒーターは、優れた熱伝導性（温度が伝わりやすく、均一に分布する）をもった、窒化アルミニウムを表面部材に採用し、また、独自のパターン設計をすることで、超高速昇温（1秒50℃以上）を実現しております。

形状はスクエアタイプが標準で、大きさはユーザー用途に合わせて提供することが可能です。

「平面のハンダごて」をご想像頂ければ、わかりやすいかと存じます。

主な取引先は、半導体製造装置関係です。特にスマートフォン・タブレットなどの高機能で薄型な基板を製造されている現場でのフリップチップ実装用途として、ご活用いただいております。

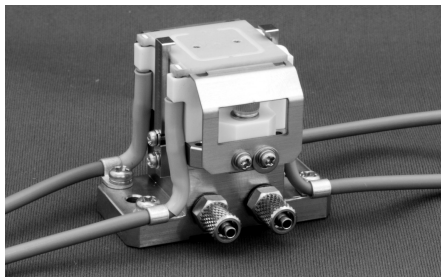
水での洗浄可能で環境負荷も少なく、顧客仕様に合わせたカスタム化も可能です。

スマートフォン向けとして、需要増加を見込んでおります。

正直、皆様におかれましては、馴染みの薄い商品群かと思っております。ただ、環境保全・生産効率向上・そして人命を守るために必要な製品であり、お取引先におかれましては、ご活用頂けるお客様がいらっしゃると思っております。

各部門の人達とコミュニケーションをとり、グループの業績向上に貢献したく考えている次第です。もちろん、グループ各社が取扱う商品・商材も勉強し、お互いのシナジー効果が発揮出来るよう、努めてまいります。

皆様には今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



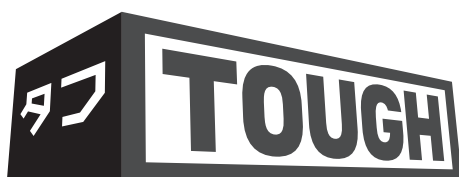
ジコー セラミックヒーター



ジコー
装着型ガス検知器



ジコー
備付型酸素モニター



タフな安心を、あなたに。

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

野村IR主催 合同個人投資家セミナーへ参加いたしました

(株)イチネンホールディングス 社長室 高添 善匡
3月4日(月)に野村IR様主催の「合同個人投資家セミナー」に参加いたしました。

「合同個人投資家セミナー」へは、弊社にご興味をお持ち頂きご応募され、抽選で選ばれた210名の個人投資家様にご参加いただきました。(株)イチネンホールディングス代表取締役社長 黒田雅史よりイチネングループの事業内容、成長戦略、業績、配当や株主優待について説明させていただきました、非常に熱心にお聴きいただくことができました。また、ご来場いただいた個人投資家様へ、メガネクリンビュウや靴の消息剤(シューメイト)をご進呈し、大変ご好評を賜りました。

ご参加された個人投資家様より積極的な質問も頂き、ご理解をより一層深められたと考えております。

会社説明会にご来場いただいた個人投資家様へは心より感謝申し上げます。

今後とも深くご理解頂けるよう



う、積極的なIR活動を推進してまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



プレスリリース

2013年度

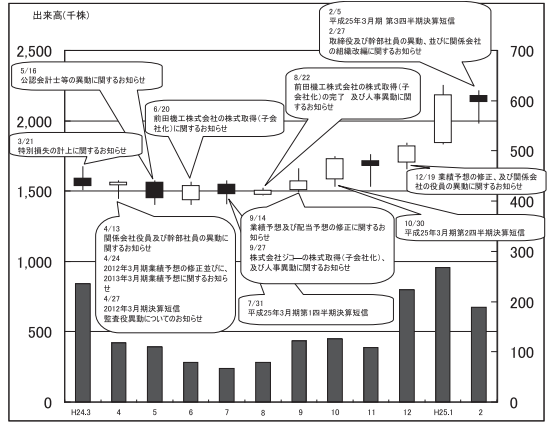
2/5 平成25年3月期第3四半期決算

2/27 短信

3/11 取締役及び幹部社員の異動、並びに関係会社の組織改編に関するお知らせ

配当予想の修正(増配)及び関係会社の役員異動に関するお知らせ

株価チャート



ふえろ〜提携工場紹介

有限会社 三陽自動車工業

盛岡市は岩手県の中部に位置する都市で、同県の県庁所在地です。東北では仙台、郡山市などと共に主要都市の1つとして数えられており同圏を形成に広がる約50万人の盛岡都市圏を形成している中核市に指定されておりあります。とりわけ岩手県の県庁所在地として第三次産業を主とする商業都市となります。東北新幹線の整備により、急速な都市化が進み北東北での拠点機能が高まっておりあります。

盛岡市を舞台にしたNHK連続小説「どんと晴れ」が放映され観光客が増えたり一定の効果が上がっております。又、平成23年には奥州藤原氏の栄華の遺産を表わす庭園及び考古学的遺跡群(平泉町)が世界遺産に登録され、こちらも上々に観光客が増えたりあります。



約17年にわたり営業をさせて頂いております。これからの自動車修理は「新時代を生き抜く力」で分かちやすく整備修理の内容に努めていかなければならないと思います。保有車両の構成を見ると長期使用車両や軽自動車の占める割合が引き続き増加しております。さらにハイブリット車、電気自動車等の高度な電子制御を備えた自動車の普及が進んでおります。これらの新技術を搭載した車両に対して技術の習得が課題となっております。

さて、我が社はイチネン様からご指定を頂き、取引が始まり2013年3月現在140台の委託を頂いております。お世話になり感謝申し上げます。

今年も支部会に出席の予定をしております。引き続き共栄会の理念、行動指針をスローガンに点検率100%を目指します。

今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

【有限会社 三陽自動車工業】

- ◆所在地:盛岡市みたけ四丁目4番5号
- ◆代表者:代表取締役 大志田 司
- ◆従業員数:10名
- ◆取引開始:1997年8月
- ◆委託台数:140台(2013年2月末現在)

TOYO TIRES driven to perform

ナノバランステクノロジーが生んだ、次世代低燃費タイヤ。

NANOENERGY

ナノエナジー

NANOENERGY 0 NANOENERGY 1 NANOENERGY 2 NEW NANOENERGY 3

このラベリング(表示方法)制度は、タイヤ業界(一般社団法人日本自動車タイヤ協会: JATMA)が業界自主基準として策定し、転がり抵抗性能とウェットグリップ性能の両性能ともある一定値を満たすタイヤを「低燃費タイヤ」として定義づけるとともに、消費者に対し適切な情報提供をするラベリング(表示方法)の制度を構築するものです。

GOOD DESIGN

転がり抵抗性能
ウェットグリップ性能

ナノエナジー0
AAA AA A B C
a b c d

ナノエナジー1
AAA AA A B C
a b c d

ナノエナジー2
AAA AA A B C
a b c d

ナノエナジー3
AAA AA A B C
a b c d

※発売サイズは195/65R150のサイズです。 ※発売サイズは195/65R15のサイズです。

TOYO TIRE & RUBBER CO., LTD. | <http://toyotires.jp> 月に一度は空気圧の点検を!